

岡本太郎制作「平和を呼ぶ」

「平和を呼ぶ」は、船橋市が世界の恒久平和を願い、昭和61(1986)年12月19日に「平和都市宣言」をしたことを記念し、昭和63(1988)年に建立されました。

この「平和を呼ぶ」は、高さ11メートル、台座を含め13メートルの大きな像で、昭和45(1970)年に大阪で行われた日本万国博覧会において建てられた「太陽の塔」をはじめ、数多くの作品を生み出した岡本太郎氏の制作によるものです。

表情の異なる人の顔が前後に表現され、両手を高くかかげており、心を世界に向けて開いている姿を表しています。

「平和を呼ぶ」はふなばしアンデルセン公園にてご覧になれます。（裏面参照）

船橋市平和都市宣言４０周年
since1986.12.19

担当：船橋市総務部総務法制課　TEL047-436-2122

←船橋市ホームページ
平和都市宣言事業について



「平和を呼ぶ」を南側より見たところ。
前後で表情の異なる顔が表現されています。

制作者として

平和は、なま身で生きている誰でもの願いだ。
よろこびにみちた生活、文化、すべてが、平和の上に成り立っている。
しかし世界中を見わたすとき、また遠く歴史をさかのぼって考えても、
本当に人類が、平和に暮したことがあったのだろうか。
憎みあい、傷つけあい、殺しあう。人間の業のように、
いつも、どこかで、争いは絶えなかった。
だからこそ、いま、われわれは絶対的な平和を望み、追い求める。
平和は黙って、何もしないでいて、在るものではない。
強烈な意志をもって、〝平和を呼ぶ〟。呼ばなければならない。
それも、変に力んで、喧嘩腰で、争いをふきかけるようなやり方ではなく、
にっこりと、無邪気に、世界を抱きかかえる、豊かな心、情熱をもって。
この像はそのシンボルとして作った。

昭和63(1988)年「平和を呼ぶ」制作にあたって　**岡本　太郎**



ふなばしアンデルセン公園
園内マップ